

【線形代数 I について】

1年15組, 2009年度担当教官 石川 剛郎

すべての数理科学の共通の基礎は $\left\{ \begin{array}{l} \text{微分積分} \\ \text{線形代数} \end{array} \right. \Leftarrow \text{これをやります!}$

●教科書は, 泉屋 他著: 行列と連立一次方程式, 共立出版 です.

【線形代数 I の評価方法】

●線形代数 I の講義では, 試験の成績 (試験は計 2 回を予定) と平常点 (質問書・出席) の両方をもとに成績をつける予定です. 評価の割合はほぼ 7 対 3 とします. したがって, 講義内容の習得はもちろんですが, 普段の講義に関する関心度, 理解度も大切になります.

●試験は 6 月中旬 (中間テスト) と, 前期最後の講義の時間 (8 月上旬を予定, 期末テスト) の 2 回予定です. やむをえない都合により受験できない (できなかった) 人で単位取得を希望する人は, なるべく早めに私 (石川) に申し出て, 後日設定する追試験を受けてください. (ただし, 一般的に, 追試験は正規の試験より評価が若干厳しくなります).

●再試験 (試験の成績の悪かったひとのためにもう一度行う試験) は行いません. 計 2 回の試験だけから 7 割の評価を決めます.

●質問書には, 講義内容に関する質問と, 補足説明 (100 字程度以上) をかならず書いてください. 質問になっていないと判断されるもの, 補足説明のないものや白紙は評価できません. 質問が思い浮かぶよう, 真剣に講義に集中してください. 予習や復習の結果, 思いついた質問も歓迎します.

●質問書を回収する場合, その回の講義の最後の 10 分間程度を質問を書くための時間にあてます. 質問は自分の発想, 自分の言葉で表現してください. 酷似した質問書が複数あったら, それらはすべて評価外とします.

●寄せられた貴重な質問には, プリントや講義を通して, できるかぎり回答します. 誰が質問したかは伏せますが, 質問自体は公開させてもらう場合があります. (質問書とは別に直接の質問ももちろん大歓迎です).

●質問書とは別に, ほぼ毎回, 実際に問題を解いてもらうように, 講義中に「演習プリント」を配布します. 自己採点して, 試験準備などに利用してください.

質問例 (単なる例示であり, 理想的な質問というわけでは決してありません. なるべく素直な質問を期待しています.) 行列は何のために考えるのですか? 行列の掛け算の意味を教えてください.

補足説明: 行列は, 数字をたてよこに並べたものということなので, 表のようなものと思いますが, それを行列とって取り上げる意義はありますか? 行列の足し算や引き算, スカラー倍はまだ納得できますが, 掛け算をどうしてあのように定義するか, さっぱりわかりません.

質問例その 2: 教科書の xx ページの問題の解答がよくわかりません. ミスプリントですか?

補足説明: 普通に計算すると, 結果は xxx となったのですが, どうしても解答と一致しません. 計算間違いかもしれませんが, 納得できません.
